

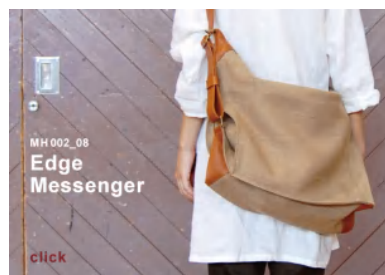
報道機関各位  
プレスリリース

2011年1月28日  
株式会社マザーハウス

### 「途上国発のブランド」マザーハウスが2011年3月に台湾で期間限定店舗をオープン

「途上国から世界に通用するブランドをつくる」を理念とし、バングラデシュ等の途上国にてバッグを中心とするファッション商材を生産し、日本全国で販売しているファッションブランドである株式会社マザーハウス【代表取締役：山口絵理子 <http://www.mother-house.jp/>】は2011年3月に台湾最大手の百貨店である太平洋 SOGO 忠孝復興店の1Fメインエントランス横にて、3月11日（金）～3月23日（水）に渡り期間限定店舗をオープン致します。2011年度は引き続き台北市内の大手百貨店での常設店舗のオープン、及び直営路面店のオープン、通販番組での販売も計画しており、本格的な販売展開を行ってまいります。

マザーハウスは代表の山口絵理子（29歳）が24歳の時に起業し、現在日本全国に6店舗の直営店を展開しており、2010年9月には銀座に直営店をオープンしました。ジュートという自然に優しく機能性にも優れた最高品質のバングラデシュ産の麻を世界で初めてファッションバッグに採用し、バングラデシュの自社工場で一つ一つ丁寧に手作りしています。「途上国産商品のイメージを覆す品質とデザイン性の高さ」と「途上国の貧困問題をファッションを通じて解決する」という今までにない新しい取り組みが国内外で大きな反響と共感を呼んでいます。



■ 代表取締役社長兼デザイナー 山口絵理子プロフィール



1981 年生まれ。

小学校時代いじめにあい不登校に、中学時代はその反動で非行に走るが、柔道に会い更生。強くなりたいという思いから高校の「男子柔道部」に自ら飛び込み、全日本ジュニアオリンピック第7位に。偏差値40から受験勉強3ヵ月で慶應大学総合政策学部に入學。大学4年の時、米州開発銀行でインターンを経験。そこで途上国援助の矛盾を感じ、アジア最貧国「バングラデシュ」を訪問。貧困や汚職といった現実を目の当たりにしたことから、日本人初のバングラデシュ BRAC 大学院生に。途上国に必要なのは施しではなく先進国との対等な経済活動という理念から、23歳で起業を決意。2006年、バングラデシュ特産のジュート(麻)を使った高品質バッグを現地で生産し輸入販売する「株式会社マザーハウス」を設立、代表取締役社長に。フジサンケイ女性起業家支援プロジェクト2006最優秀賞受賞。2008年 Young Global Leaders 選出。2010年シュワブ財団”Social Entrepreneur of the Year in Japan”受賞。MIT Legatum Center for Development & Entrepreneurship フェロー。



山口絵理子著書

「裸でも生きる」

「裸でも生きる 2  
-keep walking 私は歩き続ける-」

(いずれも講談社 BIZ)

【本件の連絡先】

株式会社マザーハウス

マーケティングマネージャー：迫俊亮

E-mail: [global@mother-house.jp](mailto:global@mother-house.jp)

〒110-0016 東京都台東区台東 2-9-1 ミトベビル 1F

URL : <http://www.mother-house.jp/>

以 上